

三春町第2期国民健康保険
データヘルス計画
三春町第3期特定健康診査等
実施計画
(中間評価)
評価結果報告書

令和3年2月 策定

三春町保健福祉課

**三春町第2期国民健康保険データヘルス計画
三春町第3期特定健康診査等実施計画 中間評価の実施内容**

1 中間評価の目的

第2期国民健康保険データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画（計画期間平成30年度～令和5年度）では、計画期間の中間年度である令和2年度に計画に掲げた目的・目標の達成状況の中間評価を実施することとしています。

このため、今回、これまでの前期の取組み、数値目標の達成状況等を確認し評価を行うことにより、後期の当該計画において重点的に取り組むべき事項等を明確にし、効果的な保健事業の展開を図るものです。

2 中間評価の実施方法

中間評価は、国保データベース（KDB）システム等の情報を活用し実施しました。また、データについては経年変化、国、県、同規模保険者との比較を行い、評価しました。

※同規模保険者とは、令和1年4月1日現在、全国の人口15,000人～20,000人未満の町村（該当町村数:123）の平均

3 目標の達成状況の評価

短期的及び中長期的に掲げる目標の達成状況について、次のとおりA、B、Cの3段階による評価を行いました。

〈達成状況の評価〉

基準値と令和1年度実績によりA～Cまでの3段階で評価を実施

評価区分	評価A	評価B	評価C
達成内容	R1目標値を達成している。	R1目標値は達成していないが、基準値よりは改善向上している。	R1目標値達成していない、かつ基準値を下回った。

4 前期（平成30年度、令和1年度）の主な取組み

本町においての、医療、介護及び健診の分析結果から、一人当たりの医療費が高額で死亡率が高く、要介護の最大の原因疾患となる心臓病や脳血管疾患等の血管疾患、医療費を圧迫する慢性腎不全（人工透析）の原因となる主要疾患である糖尿病性腎症に対する重症化予防が喫緊の課題です。

対 策	取組内容（概要）
ア 健康診査の内容の充実及び受診率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診の二次健診項目に尿中アルブミン検査を追加。 ・ 特定健診受診券を個別に通知して、受診勧奨を行った。 ・ 高齢者社会参加ポイント付与、健康づくりポイント事業の実施により、健診への関心を高めた。
イ 受診率向上のための効果的な啓発活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診の受診方法について、国保加入者へのガイドブックの個別配布や、町防災行政無線での周知、町広報紙、ホームページ等での広報を行った。
ウ 未受診者への受診勧奨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年度は個人通知や電話にて、令和1年度はAIによる分析又はマーケティング手法を取り入れた特定健診未受診者への受診勧奨を実施した。
エ 人間ドック助成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受診費用の半額助成（上限3万円）を行った。
オ 情報提供書の提出受理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的通院や職場での健診結果を情報提供書として受理した。
カ 健診結果を基にした健康管理の支援体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健指導実施体制の強化を図り、対象者の方に応じた資料を活用し、生活習慣改善の支援を行った。 ・ 特定健診結果で高血圧・糖尿病・脂質異常症、CKD該当者に対する医療機関への受診勧奨を行った。

5 第2期データヘルス計画の達成状況

項目		基準値 (H28)	目標値 (H30)	実績値 (H30)	目標値 (R1)	実績値 (R1)	目標値 (R5)	評価
中 長 期 的 目 標	虚血性心疾患 罹患割合維持	3.5%	3.5%	3.2%	3.5%	3.3%	3.5%	A
	脳血管疾患罹 患割合維持	3.5%	3.5%	3.6%	3.5%	3.5%	3.5%	A
	糖尿病性腎症 罹患割合維持	13.2%	13.2%	13.3%	13.2%	13.3%	13.2%	C
短 期 的 目 標	高血圧症Ⅱ度 高血圧以上の 割合減少	3.2%	3.1%	5.4%	3.1%	5.0%	2.9%	C
	糖尿病 HbA1c6.5% 以上の未治療者の 割合減少	3.9%	3.8%	3.5%	3.7%	4.7%	3.3%	C

短期的目標	項目	基準値 (H28)	目標値 (H30)	実績値 (H30)	目標値 (R1)	実績値 (R1)	目標値 (R5)	評価
	糖尿病 HbA1c8.0% 以上の治療中者の 割合減少	3.2%	3.0%	5.5%	2.8%	6.9%	2.0%	C
	LDL-C180mg/dl 以上の割合減少	3.0%	2.9%	2.7%	2.7%	2.4%	2.2%	A
	中性脂肪 300mg/dl 以上 の割合減少	2.3%	2.2%	1.7%	2.0%	2.1%	1.5%	B

(ア) 評価結果

- 虚血性心疾患罹患割合、脳血管疾患罹患割合は令和5年度の目標値を達成しています。
- 糖尿病性腎症罹患割合は、令和5年度の目標値と比較すると0.1%上回っています。
- 脳血管疾患の発症要因の一つであるⅡ度以上高血圧者の割合は増加しています。
- HbA1c 6.5%以上の未治療者の割合、HbA1c 8.0%以上の治療中者の割合は、ともに増加傾向にあります。
- LDLコレステロール値の受診勧奨域である180mg/dl以上者の割合の減少については、経年減少していますが令和5年度の目標値には到達していません。
- 中性脂肪300mg/dl以上者の割合の減少については、平成30年度は当該年度の目標値を達成しましたが、令和元年度は再び増加し、令和5年度の目標値には到達していません。

(イ) 今後の重点的取組み

- 基礎疾患である糖尿病、高血圧、脂質異常症の発症や重症化を防ぐため、特定健診の受診率向上や健診後の要治療者への医療機関受診の取組みを継続・強化します。
- 引き続き、特定健診受診者への特定保健指導に取り組むとともに、血圧高値者、脂質高値者等へ適切な受診勧奨と生活改善に向けた保健指導を行い、動脈硬化から狭心症や心筋梗塞といった心疾患、脳血管疾患などの重症化を防ぎます。
- 人工透析患者は、40歳から64歳までの若年層に多く占めているため、糖尿

病治療中断者、未治療者の受診勧奨及び医療機関と連携し治療中者の保健指導を行い、糖尿病性腎症の重症化による人工透析への移行を防止します。

6 第3期特定健康診査等実施計画の達成状況

(1) 実施に関する目標値と実績

項目	基準値 (H28)	目標値 (H30)	実績値 (H30)	目標値 (R1)	実績値 (R1)	目標値 (R5)	評価
特定健康診査受診率	46.2%	48.0%	47.1%	50.0%	52.0%	60.0%	A
特定保健指導実施率	22.4%	35.0%	13.8%	40.0%	16.9%	60.0%	C

(ア) 評価結果

- 特定健康診査受診率は、令和5年度の目標値には到達していませんが、経年上昇しています。
- 特定保健指導実施率は、各年の目標値に対して低下しています。

(イ) 今後の重点的取組み

- 特定健康診査受診率は、65歳から74歳までの受診者数は対象者数の半数以上を占めていますが、対象者数が多い年齢層であるため、未受診者も多くなっているのが現状です。また、男性がとりわけ低いことから、ターゲットを絞った受診勧奨方法について委託業者と考案し、かかりつけ医師からの勧奨や商工事業所への働きかけ、生活習慣病が引き起こす重大な疾患のリスクについて、わかりやすい情報提供をするなど健診受診を促す取組みを行っていきます。
- 特定保健指導実施率は、初回面接を実施しても終了まで至らない方が多いことから、初回面接から評価までの介入方法や対象者の優先順位の検討を行っていきます。
- 集団健診受診者で特定保健指導の対象となった方に対して、保健指導業務の一部を外部委託し、実施率の向上を図っていきます。
- 積極的支援・動機付け支援の対象者のうち、支援が終了した方へ健康づくりに繋がる特典を付与し、実施率の向上及び支援終了後も継続して生活習慣の改善に取り組めるよう意識付けを行います。

(2) 成果に関する目標値と実績 ※ () 内は対象者の人数

項目	基準値 (H20)	目標値 (H30)	実績値 (H30)	目標値 (R1)	実績値 (R1)	目標値 (R5)	評価
メタボリックシンドロームの減少率 〈該当者〉	251 人	5.0% (238 人)	-19.0% (298 人)	10.0% (225 人)	-38.0% (345 人)	25.0% (188 人)	C
メタボリックシンドロームの減少率 〈予備群〉	219 人	5.0% (208 人)	27.0% (160 人)	10.0% (197 人)	29.0% (155 人)	25.0% (164 人)	A
特定保健指導対象者数の減少率	187 人	5.0% (177 人)	14.0% (161 人)	10.0% (168 人)	1.6% (184 人)	25.0% (140 人)	B

※メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者基準

腹囲が男性 85 cm 以上、女性 90 cm 以上で 3 つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち 2 つ以上の項目に該当する方。

※メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予備群基準

腹囲が男性 85 cm 以上、女性 90 cm 以上で 3 つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち 1 つに該当する方。

(ア) 評価結果

- メタボリックシンドローム該当者の減少率は、平成 20 年度基準値の人数と比較すると経年増加しています。
- メタボリックシンドローム予備群の減少率は、平成 20 年度基準値の人数と比較すると経年減少しており、令和 5 年度の目標値を超えています。
- 特定保健指導対象者数の減少率は、平成 30 年度は当該年度の目標値を達成しましたが、令和元年度は再び増加しており、令和 5 年度の目標値を超えています。

(イ) 今後の重点的取組み

- メタボリックシンドロームの該当者は、40 歳代から増加する傾向であり、特に男性が全体の 7 割を占めていることから、食事や運動不足などの個々の生活習慣の改善に主眼を置いた保健指導を重視していきます。
- メタボリックシンドロームの予備群と考えられる方についても、引き続き同シンドロームに移行させないよう正しい生活習慣に関する普及啓発等を通じて、生活習慣病の予防に繋げていきます。